

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 アルファグループ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3322 URL <http://www.alpha-grp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉岡 伸一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 松浦 孝暢 TEL 03-5469-7300  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,623	5.2	305	2.3	322	0.6	151	△21.0
2023年3月期第2四半期	6,295	2.2	298	△16.6	320	△20.1	192	△18.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 151百万円 (△21.1%) 2023年3月期第2四半期 192百万円 (△18.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	27.55	-
2023年3月期第2四半期	33.99	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	8,595	4,678	54.4
2023年3月期	9,248	5,147	55.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,678百万円 2023年3月期 5,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	12.00	12.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,900	2.5	728	27.8	759	38.3	399	70.8	70.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

(注) 当社は2023年8月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行っております。なお、連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、自己株式取得の影響を考慮しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	6,962,400株	2023年3月期	6,962,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,141,766株	2023年3月期	1,309,766株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	5,507,148株	2023年3月期2Q	5,652,634株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①全般的概況

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へと移行し、社会経済活動の正常化が進む一方で、地政学的リスクの高まりや為替変動による原材料や原油価格の高騰、これに伴う物価上昇等、依然として不透明な状況で推移しております。

このような環境下で、当社グループは当社の強みである「STOCK」の強化のため、これまで構築してきた基盤からもたらされる継続的な収益の維持に努めるとともに、新たな商材の開発に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高66億23百万円(前年同四半期比5.2%増)、営業利益3億5百万円(前年同四半期比2.3%増)、経常利益3億22百万円(前年同四半期比0.6%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益1億51百万円(前年同四半期比21.0%減)となりました。

#### ②セグメント情報

##### <5Gマーケティング事業>

5G対応通信端末の普及や関連サービスの高度化、本体価格の高騰による買い替えサイクルの長期化、さらに、一部の通信事業者においてオンライン手続の強化やキャリアショップの統廃合の方針が掲げられるなど、モバイル市場は変革の時期にあります。

このような動向を受けて販売代理店の役割も変化しつつある中、当社グループは、引き続き通信端末販売の代理店展開及び直営店舗での販売の展開に努めてまいりました。オンラインによる新たな販路の開拓を企図して独自のWEBメディアの運営に取り組む一方で、実際の販売ショップにもなお大きな需要が見込まれると判断し、商業施設等の好立地への出店を継続しております。また、サービスが複雑化し高い専門性が求められる販売ショップに特化した人材派遣においても、人材確保等の事業拡大に向けた動きに注力しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は51億20百万円(前年同四半期比3.4%増)、営業利益は1億56百万円(前年同四半期比99.5%増)となりました。

##### <B to Bイノベーション事業>

現在の主軸であるオフィス文具通販の代理店展開に関しては、競合他社のみならず大手通販サービスも市場へ参入していることにより厳しい状況にありますが、コロナ禍の収束に伴う経済活動の正常化により売上高及び営業利益のいずれも増加しております。また、特定の取引先に依存しない新たな収益基盤の構築のため、これまでグループ全体で構築してきた法人顧客網を活用できる事業者向けの商材やサービスの開発にも引き続き取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3億89百万円(前年同四半期比14.4%増)、営業利益は1億32百万円(前年同四半期比46.2%増)となりました。

##### <環境サステナ事業>

現在の主軸であるLED照明機器の販売・レンタルにおきましては、数期に亘る営業活動の結果として当社グループの提供するサービスを利用する医療施設の規模は40,000床を超え、これらの顧客から月々のレンタル料を受領することにより、堅調な利益を確保しております。

電力小売やエネルギー利用状況等に関するコンサルティングサービスでは、原油価格の高騰を受けた電気料金の高騰により新規顧客獲得に向けた積極的な営業活動は見合わせているものの、既に獲得した顧客から発生する収益は一定規模に達しております。また、太陽光発電やウォーターパックの販売によっても安定的な収益がもたらされております。

さらに、前事業年度より本格的に営業活動を開始したEV充電サービスについても、補助金等を活用した充電器設置サポートの提案を、充電器の設置が利便性の向上に繋がるような施設の管理又は運営をする事業者を主要なターゲットとして展開しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11億17百万円(前年同四半期比10.5%増)、営業利益は16百万円(前年同四半期比87.2%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は85億95百万円で、前連結会計年度末に比べ6億52百万円の減少となりました。主な減少は、現金及び預金の減少7億12百万円、売掛金の減少2億90百万円等で、主な増加は、リース債権及びリース投資資産の増加2億46百万円等であります。

負債は39億17百万円で、前連結会計年度末に比べ1億83百万円の減少となりました。主な減少は、短期借入金の減少2億円、買掛金の減少1億37百万円等であり、主な増加は、長期借入金の増加1億10百万円等であります。

純資産は46億78百万円で、前連結会計年度末に比べ4億69百万円の減少となりました。主な減少は、自己株式の取得による減少5億53百万円、配当金の支払いによる利益剰余金の減少67百万円等であり、主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加1億51百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、2023年5月15日公表の業績予想から修正はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,599,013	1,886,447
売掛金	1,300,786	1,010,101
リース債権及びリース投資資産	1,022,515	1,268,810
商品	700,165	702,875
貯蔵品	1,583	2,263
その他	1,029,434	1,039,552
貸倒引当金	△1,036	△690
流動資産合計	6,652,461	5,909,360
固定資産		
有形固定資産		
土地	152,736	152,736
その他	804,754	995,589
有形固定資産合計	957,491	1,148,325
無形固定資産		
のれん	109,016	87,213
顧客関連資産	6,666	—
その他	130,027	120,329
無形固定資産合計	245,711	207,542
投資その他の資産		
差入保証金	1,032,830	970,597
その他	403,611	432,274
貸倒引当金	△43,768	△72,608
投資その他の資産合計	1,392,674	1,330,263
固定資産合計	2,595,876	2,686,131
資産合計	9,248,338	8,595,492

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,295,933	1,158,418
短期借入金	850,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	389,906	309,812
未払法人税等	73,283	153,099
賞与引当金	29,156	31,276
その他	926,240	953,197
流動負債合計	3,564,520	3,255,803
固定負債		
長期借入金	309,260	420,140
役員退職慰労引当金	77,174	78,524
その他	149,611	162,645
固定負債合計	536,045	661,309
負債合計	4,100,566	3,917,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	728,734	728,734
資本剰余金	686,036	686,036
利益剰余金	4,618,338	4,702,252
自己株式	△885,139	△1,438,419
株主資本合計	5,147,970	4,678,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△198	△224
その他の包括利益累計額合計	△198	△224
純資産合計	5,147,771	4,678,379
負債純資産合計	9,248,338	8,595,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	6,295,179	6,623,509
売上原価	4,275,640	4,419,543
売上総利益	2,019,539	2,203,966
売上利益調整		
繰延リース利益戻入額	90,694	136,051
繰延リース利益繰入額	119,947	219,161
売上利益調整額	△29,252	△83,109
差引売上総利益	1,990,286	2,120,856
販売費及び一般管理費	1,691,824	1,815,520
営業利益	298,462	305,336
営業外収益		
受取利息	12,551	18,671
受取手数料	7,596	7,131
その他	5,172	3,223
営業外収益合計	25,320	29,026
営業外費用		
支払利息	3,492	2,827
暗号資産売却損	—	7,090
その他	0	2,307
営業外費用合計	3,492	12,224
経常利益	320,290	322,138
特別利益		
受取立退料	—	27,132
特別利益合計	—	27,132
特別損失		
固定資産売却損	35	—
固定資産除却損	5,710	3,503
減損損失	—	15,288
解約違約金	—	6,442
特別損失合計	5,746	25,234
税金等調整前四半期純利益	314,544	324,036
法人税、住民税及び事業税	89,369	146,497
法人税等調整額	33,014	25,793
法人税等合計	122,383	172,290
四半期純利益	192,160	151,745
親会社株主に帰属する四半期純利益	192,160	151,745

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	192,160	151,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	△26
その他の包括利益合計	14	△26
四半期包括利益	192,175	151,719
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192,175	151,719
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	314,544	324,036
減価償却費	133,268	129,665
減損損失	—	15,288
のれん償却額	—	21,803
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,350	1,350
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△171	28,494
受取利息及び受取配当金	△12,574	△18,691
助成金収入	—	△2,130
支払利息	3,492	2,827
固定資産除却損	5,710	3,503
売上債権の増減額 (△は増加)	177,638	44,389
棚卸資産の増減額 (△は増加)	50,802	△117,969
未収入金の増減額 (△は増加)	5,369	3,980
長期未収入金の増減額 (△は増加)	6,332	△23,739
仕入債務の増減額 (△は減少)	△161,668	△137,515
未払金の増減額 (△は減少)	6,145	4,189
前受金の増減額 (△は減少)	△20,686	12,208
預り金の増減額 (△は減少)	△9,764	△2,799
その他	△12,659	18,097
小計	487,127	306,989
利息及び配当金の受取額	1,791	1,184
利息の支払額	△3,363	△3,010
助成金の受取額	—	2,130
法人税等の支払額	△184,389	△73,791
法人税等の還付額	384	3,185
営業活動によるキャッシュ・フロー	301,549	236,686
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△300,989	△177,585
無形固定資産の取得による支出	△44,781	△14,085
投資有価証券の取得による支出	—	△20,000
貸付けによる支出	△200,000	—
貸付金の回収による収入	3,000	3,000
事業譲受による支出	△200,000	—
差入保証金の差入による支出	△61,528	△25,538
差入保証金の解約による収入	25,483	95,023
その他	△20,956	△19,974
投資活動によるキャッシュ・フロー	△799,772	△159,160

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20,000	△200,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△209,216	△169,214
自己株式の取得による支出	—	△553,280
配当金の支払額	△42,310	△67,598
その他	△2,300	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△273,826	△790,092
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△772,049	△712,565
現金及び現金同等物の期首残高	2,774,820	2,568,013
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2,081	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,004,851	1,855,447

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年8月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式832,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が553,280千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が1,438,419千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	5G マーケティング 事業	B to B イノベーション 事業	環境サステナ 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,951,087	339,381	586,980	5,877,449	—	5,877,449
その他の収益 (注) 3	—	—	417,730	417,730	—	417,730
外部顧客への売上高	4,951,087	339,381	1,004,710	6,295,179	—	6,295,179
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	716	6,244	6,960	(6,960)	—
計	4,951,087	340,097	1,010,955	6,302,140	(6,960)	6,295,179
セグメント利益	78,255	90,797	129,409	298,462	—	298,462

- (注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。  
 2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。  
 3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準(企業会計基準第13号)」に基づく収益であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	5G マーケティング 事業	B to B イノベーション 事業	環境サステナ 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,119,567	388,552	417,041	5,925,161	—	5,925,161
その他の収益 (注) 3	—	—	698,348	698,348	—	698,348
外部顧客への売上高	5,119,567	388,552	1,115,390	6,623,509	—	6,623,509
セグメント間の内部売上高又は振替高	600	598	1,987	3,186	(3,186)	—
計	5,120,167	389,151	1,117,377	6,626,695	(3,186)	6,623,509
セグメント利益	156,088	132,726	16,520	305,336	—	305,336

- (注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。  
 2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。  
 3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準(企業会計基準第13号)」に基づく収益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「5Gマーケティング事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において15,288千円であります。